

はじめに

始良市は、鹿児島県本土のほぼ中央に位置し、古くから交通の要衝として栄え、都市が形成される過程で、海・山・川といった美しく豊かな自然環境、また、歴史的な文化資源が数多く残されてきました。

これらの財産を未来に繋ぎ、都市の均衡ある発展を図っていくことは、私達にとって最も大切なことであり、使命でもあると考えます。

しかしながら、本市を取り巻く社会情勢は、本格的な少子高齢社会への突入、東日本大震災を契機とした防災対策への対応やエネルギー政策の転換など、多種多様な課題が山積しており、従来の社会の在り方から構造的な大転換を迫られています。

また、都市づくりに対する市民の皆様のニーズは、豊かな生活に対する多様な意識も加わり、個々の価値観により変化してきており、それらに対応したきめ細かな視点と社会情勢を反映した都市づくりが求められています。

特に、環境に対する意識の高まりは著しく、自然環境の保全や低炭素社会に向けた都市づくりなど、地球規模のグローバルな課題に対する取り組みが求められており、本プランにおいても、将来に残すべき環境の位置付けをしっかりと行うこととしました。

本プランの策定にあたっては、上位計画である第1次始良市総合計画等や関連計画等との整合を図るとともに、市民の皆様の声をできるだけ反映すべく、住民意識調査、中学生アンケートなどの調査結果を幅広く集約し、地域別協議会、策定委員会での審議を経て、都市計画に関する基本的な方針としてまとめました。

本プランは、20年後の本市が目指すべき都市計画の方向性を定めるものとして、基本理念を「自然豊かで快適な暮らしを発信する県央都市 あいら」とし、市民の皆様と行政が一体となった都市づくりを進め、魅力あるまちづくりを発信していきます。

また、都市づくりにおける新たな課題に対応すべく、これまでの都市づくりの視点に加え、「誰もが安全、快適に暮らせる都市」、「活力を育み、発展する都市」、「歴史文化・自然環境を大切にし、活かす都市」3つを施策の柱に据え、県央の地の利を活かした、住みよい都市づくりを進めていきます。

最後に、本プランの策定にあたり、貴重なご意見、ご提言をいただきました市民の皆様をはじめ、地域別協議会、策定委員会、都市計画審議会の各委員並びに関係各位に対し、心から感謝申し上げます。

平成 25 年 3 月

始良市長 笹山 義弘

